

Google を用いた検索について

J07 muto

理工系に属する上でネットの検索スキルは必須なので、調べてみました。
覚えておいて損はないようにかきます...

・ AND 検索

(例: ヤフー グーグル)

文字と文字の間に「スペース」または「AND」をつける
「ヤフー」と「グーグル」を検索する

・ OR 検索

(例: ヤフー OR グーグル)

文字と文字の間に「OR」または「| (たてせん)」をつける
「ヤフー」か「グーグル」のどちらかが含まれているページを検索する

・ マイナス検索

(例: ヤフー -グーグル)

文字の前に「-(マイナス)」をつけると、
マイナスがついた文字を除外する
「グーグル」が含まれていないヤフーのページの検索

・ ストップ語における検索

(例: +and 回路 +not 回路)

google で検索する際、よく使われる語彙は省かれることがある
(and,or,how,be,to,i,it,of... など)
ので、それを防ぐため+ (プラス) をつける

・ フレーズ検索

(例 1 : to-be-continued)・・・結果 9,700,000 件

(例 2 : "to be continued")・・・結果 3,210,000 件

- 1 . 英語と英語の間に (ハイフン) を挿入するか、
- 2 . 全体を " (引用符) でかこむ

まとめて検索する方法として用いる

・ 関連ページの検索

(例 1 : related:http://www.yahoo.co.jp/) アドレスの前に「related:」をつける

ことにより、そのページに関連したページの表示

(例 2 : link:http://www.yahoo.co.jp/) そのページにリンクしているページの表示

・ アスタリスク (*) の検索

(例: "う*ぎ")

「うさぎ」と「うなぎ」などが検索結果に出てくる
*を任意の単語におきかえて検索する

・ 特殊構文の検索

(例: intext:テキスト) (例: inurl:ユーアールエル)

(例: intitle:HP タイトル)

文字の前に「intext:」「inurl:」「intitle:」をつけることにより、
それぞれ「ホームページ内のテキスト」「ホームページの URL」
「ホームページのタイトル」を検索する。

ただし、複数検索する場合はそれぞれの前に「all」をつけることが必要。

以上、「理工系のネット検索術 1 0 0 (SoftBank Creative)」より